## 耐震診断結果一覧の見方

## 確認の手順

- 1 ①欄に記載している耐震診断の方法を附表から探します。
- 2 ②欄に記載している構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の値が、「1」で確認した附 表の耐震診断の方法における構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価で該当する区分(I、

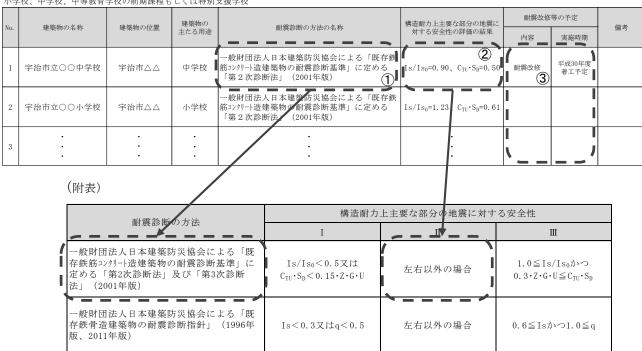
#### II、III)を確認します。

構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の区分については次のとおり

- 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険が高い。
- 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険がある。
- 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険が低い。
- ※ 震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示すもので、いずれの区分に該当 する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度 の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはないものとされています。

### 要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果

小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校



# 耐震診断結果の一覧の整理の方針

- 1 ②欄の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価は、構造上の棟別や階別等により算出さ れた評価のうち、最小値を記載しています。
- 2 一棟の建築物で複数の耐震診断方法を採用した場合は、採用した診断方法別に安全性の評価の最小 値を記載しています。
- 3 特記がない限り、Iso=0.6、Z・G・U=1.0 としています。
- 4 ③欄の耐震化等の予定には、耐震化の方針が検討中の建築物や実施時期が未定であるものについて は記載していません。